

街を元気にする 活動に注目

市内には、さまざまな立場で札幌を元気にする活動に携わっている方がいます。今回はそのうち、町内会、市民活動団体、大学生、商店街の方にインタビュー。活動の内容や思いを紹介しします。

【問い合わせ】町内会・大学生に関することは市民自治推進課（21）2253、商店街に関することは商業・金融支援担当（21）2372

インタビュー interview

町内会

同じ地域に住む人が協力し合って互いに支え合う町内会。市内には現在約2,200の町内会があり、親睦や交流、助け合いを行うなどさまざまな役割を担っています。また、地域ごとの課題や特性に応じた取り組みも行っています。

人とのつながりが一番の財産

たか 恒夫 さん

豊平区の旭水町内会で昨年4月から会長を務める。約1,800世帯が加入する町内会で中心的な役割を担う一人。



町内会活動の一例

町内会では、安全・安心で、快適に暮らせるまちづくりのために、幅広い活動を行っています（活動内容は地域によって異なります）。

親睦・交流
交流会、お祭り、運動会やスポーツ大会の開催など



町内会の催し「旭水居酒屋」の会場入り口にのれんどちよんを飾り、雰囲気盛り上げる

— 旭水町内会ではどのような活動をしていますか

通学路での子どもたちの見守りやごみステーションの管理などに取り組んでいるほか、盆踊りや歌合戦といった行事も開催しています。イベントには、町内にある大学の留学生や外国人講師のほか、高校生たちも参加してくれていますよ。そこでの交流から、外国人の方による母国の料理教室の開催や、高校生たちによる除雪ボランティアなど、新たな活動に発展しています。一つ一つの活動が、地域の絆を深めるきっかけになっていると感じますね。

— 特に自慢の活動は何ですか

地域の会館を飲食店に見立て、隔月で開催している「旭水居酒屋」です。1階では大人たちが料理を持ち寄ってお酒と会話を楽しみ、2階では子どもたちが地元の方や地域の大学生ボランティアと遊んでいます。多いときには約80



人が参加していますよ。子どもが遊べる場を作ることで、その親世代の方も来てくれるので、子どもから高齢者まで、世代を超えた交流ができるんです。ここで過ごした子どもたちが、大人になったときにこの取り組みを思い出して、地域の活動の担い手になってくれるとうれしいですね。

— 交流が生まれたことでどんな良いことがありますか

町内で互いに顔見知りが増えることで、子どもも大人も安心して暮らせる地域になっていると感じます。昨年9月

の地震では、マンションの住人から停電で水が出ないとの話があり、すぐに町内会館での給水を行いました。普段の交流のおかげで、混乱の中でもみんながスムーズに行動できましたと思います。

— 今後の目標などはありますか

活動を始めて「人とのつながりが一番の財産だ」と強く感じるようになったので、今後も皆さんに活動に参加してもらい、輪を広げていけるよう、風通しの良い町内会にしていきたいです。



見守り

通学路の見守り、子育てサロン、独居者への声掛けなど



清掃・環境美化

ごみステーションの管理、ごみ拾い、花壇の整備、リサイクル運動など



防犯・防災

街路灯の管理、町内のパトロール、防犯板の設置など



— おもちゃを修理する活動を始めたきっかけは

昔から、趣味で近所の子もたちのおもちゃを修理してました。作業自体も好きですが、直したおもちゃを受け取った子どもの笑顔は何にも代え難いものがありますよ。「この趣味を社会に役立てたい」という思いから、定年退職を機にすぐに参加しました。

— 活動に参加して感じたことを教えてください

子どもだけではなく、高齢の方からの「大切な人形を修理して欲しい」といった依頼が多いのは意外でした。おも

やま ほんし ぜいき き
柳橋 正気さん

無償でおもちゃの修理などを行う団体「おもちゃクリニック」代表。市内8カ所です定期的に開催し、年間約1,600個のおもちゃを修理している。

ちやの修理で幅広い世代の方を元気づけられるなんて、思ってもみませんでしたね。

— 活動を通してどのようなことを伝えていきたいですか

おもちゃの修理や手入れをしながら、物を大切に使う気持ちを伝えていきたいです。一人一人にそのような気持ちが芽生えることで、環境に優しい街へとつながっていくのではないかと思います。

物を大切に 気持ちで人を笑顔に



市民活動団体

市内には、公益的な活動に取り組むさまざまな団体があり、福祉や教育・文化、国際協力などの幅広い分野で活躍。多様化する社会のニーズに応える重要な役割を果たしています。

おもちゃ修理は以下の会場・日時で受け付け（部品代実費・直接会場へ） 詳細 柳橋代表 090-6997-9888、ホームページ omocha-clinic.sakura.ne.jp/ob

旭山公園通地区センター（中央区南9西18）	第1・3月曜13時～16時	東区民センター（東区北11東7）	第2・4木曜13時～16時
下水道科学館（北区麻生町8）	第2・4日曜13時～16時	丘珠ふれあいセンター（東区丘珠町183）	第2木曜10時～11時30分
屯田北児童会館（北区屯田8の7）	第2・4水曜10時30分～12時	札苗児童会館（東区東苗穂9の3）	第1水曜10時～12時
元町図書館（東区北30東16）	第3水曜13時～16時	南区民センター（南区真駒内南町2）	第1・3金曜13時～16時

市民活動団体を詳しく知りたい・応援したい方に

詳しく知りたい 市民活動サポートセンター

団体の紹介や各種相談の受け付けを行っています。
 開館時間 8時45分～22時（日曜、祝・休日は20時まで）
 相談時間 火・水・金曜15時～17時15分、第1・2木曜16時45分～19時（いずれも祝・休日を除く）
 所在地 北区北8西3エルプラザ2階 詳細 0728-5888

応援したい さぼーとほっと基金

特定の団体のほか、まちづくりの推進・子どもの健全育成などの分野を指定して寄付ができます。
 寄付方法 市役所13階市民活動促進担当で配布中のパンフレットがホームページをご覧の上、随時
 詳細 市民活動促進担当 0211-2964 さぼーとほっと基金 検索



— コパン部は、どのような活動をされていますか

北海道マラソンでの給水の手伝いや、小学生の学習支援など、依頼を受けて年間60件ほどのボランティア活動をしています。4月にはみんなで河川敷のごみ拾いもしていますよ。チームごとに拾ったごみの量を競うなど、楽しむことも大切になっています。

— 特に印象に残っている活動はありますか

知的障がいのある方を対象とした料理教室の補助や、一緒に絵を描くなどの交流を定期的にやっているのですが、その活動に初めて参加したと

いの かな
井上 かなさん

北星学園大学の学生サークル「ボランティア・コパン部」に所属。今年の秋まで部長として活躍してきた。

きのことが印象に残っています。それまで障がいのある方と接する機会がありませんでしたが、少し緊張していましたが、いざ活動が始まると皆さん気さくに話しかけてくれて、私も楽しく過ごせることができました。ボランティア活動には、思い切っただけで参加する気持ちが必要なんだと、勉強になりましたね。

— ボランティアに興味がある方に伝えたいことは

まずは一歩踏み出して参加してみたいです。行った先で、自分にできることが必ずありますよ。活動を通じて興味の幅が広がり、きっと新たな発見があると思います。

大学生

サークル活動や部活動の一つとして、イベントのサポートといったボランティア活動などを行う団体も数多くあります。次世代のまちづくりの担い手としても期待されています。

挑戦する気持ち 活動の第一歩



コパン部も掲載されている「学生地域協力ガイド」を配布中



ボランティア活動のほか、市内のイベントでアカベラやチャアリーディングを披露するなど、地域の活動に協力する学生団体と町内会などをつなぐガイドブックです。学業や本来の活動が最優先ですが、学生の力を借りたい団体は、ぜひご利用ください。配布場所 市役所13階市民自治推進課



◀町内会のイベントでチャアリーディングを披露して、元気を届ける札幌国際大学の「セララフス」

小売店や飲食店などの多様な店舗が集まる商店街。市内に70以上あり、地域の身近な存在として、街のにぎわいや交流を生み出す活動を行っている商店街もあります。



ふく ぎき のり こ
福崎 紀子さん

栄町中央商店街振興組合の理事長。商店街が毎年開催する夏祭りの企画・運営にも携わる。

「商店街で地域のにぎわいづくりに取り組んでいるとお聞きしました」

私たちの地域では、住民同士の間が薄れてきて、活気もなくなっていると感じていました。地域の交流を増やし、街を元気にすることが商店

街の活性化にもつながると考え、夏祭りを開催するほか、幅広い世代がいつでも交流できる場所である「ハッピーハッチ」の運営を始めました。

「ハッピーハッチではどのようなことを行っていますか」

普段はコーヒーや昼食などを安く提供する地域の交流の場になっていきます。そのほか、新鮮な野菜の販売や、高齢者の健康維持に役立つ講座も行っていますよ。講座が終わった後、そのまま施設内で

飲食しながら講師の方と交流できる点は、参加者からも好評なんです。参加者同士が、生き生きとお話している様子を見るとうれしくなりますね。講座以外にも、趣味の教室や子どもから大人まで楽しめるミニコンサートなどを開催し、幅広い世代を呼び込む工夫をしています。

「施設を運営する上で心掛けていることはありますか」

参加者同士の会話が生まれやすいように、身近なテーマ



ハッピーハッチで行う講座に参加した佐藤さんに聞きました

健康に関する講座やウクレレ教室に参加するなど、週に1回は利用していますね。ここに来て、新たな趣味もできましたし、交流の幅も広がりましたよ。野菜を買いに来ることもあるのですが、調理方法を教えてくれるので助かっています。私にとって居心地のいい場所の一つですね。



商店街を地域の支えとなる場所に



の講座を、定期的に開催することを心掛けています。今年は家庭でできる体操や、口の健康、認知症の予防などをテーマにしましたよ。今では参加者が参加者を呼び、そこから新しい交流も生まれているんです。

「今後の活動について教えてください」

地域住民からの健康や医療、介護の相談を受け付けるための準備をしています。こうした取り組みを通じて、地域の人々が集う場所にしていきますね。



コミュニティプラザ	ハッピーハッチ
営業時間	11時～16時
定休日	日曜・祝・休日
住所	東区北42東8宮川ビル1階
問い合わせ	☎374-1888

みんなの力で街を元気に

これから高齢化や少子化が進む中でも、街の魅力や活力を高めていくためには、市民の皆さん一人一人の活躍が欠かせません。札幌をより暮らしやすい街にするために、できることから始めてみませんか。